

市町村名	南風原町
------	------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名		文化財活用事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
担当部課名		教育部	生涯学習文化課	事業実施 年度	令和 4	～ 令和 4	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(2)	
事業内容		本町にある町指定文化財の標柱及び解説板が劣化により破損や文字の薄れ等により見えづらい状況にあるため、来訪者にわかりやすく標柱及び解説板を整備し、南風原町の文化継承に繋げていく。								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()								
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計			
		A. 予算現額	505				505			
		B. 執行済額	505				505			
		うち 交付金充当額	403				403			
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%			
		執行状況の説明	計画通りに執行できた。							
事業期間中の 活動目標		活動目標(指標)		達成状況						
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		標柱及び解説板7箇所の整備		目 標	標柱及び 解説板整備					
				実 績	標柱及び 解説板整備済					
				目 標						
				実 績						
				目 標						
				実 績						
事業期間中の 成果目標		成果目標(指標)		進捗状況						
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		アンケート調査により、「文化財についての理解が解説板により深まった」 との回答の割合:70%		目 標	－	70%				
				実 績	－	90%				
				目 標						
				実 績						
				目 標						
				実 績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成／進捗状況				
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果					
	文化財を見学に来た来訪者に対して、わかりやすい解説を記載することにより、文化財の継承に寄与していくことができる。	目 標				
		実 績				
		目 標				
		実 績				
	状況説明	町観光協会の町歩きツアーや他イベントにおいて、来訪者へ文化財の歴史・意味を知ってもらう。				
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
・今回の整備及びアンケートの徴取により、文化財への関心が高いことが伺えた。		・今回、町指定文化財に指定して整備を行った。 指定以外の文化財に対しても、整備を検討していきたい。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
・年度前半での早急着手ができるよう努めていく。						

市町村名	南風原町
------	------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	津嘉山小学校南側避難通路整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制 の強化		
担当部課名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	平成 26	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－10－(2)	
事業内容	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		～H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計		
	A. 予算現額	6,086	25,202	—	47,113	78,401		
	B. 執行済額	6,086	16,538	—	41,636	64,260		
	うち 交付金充当額	4,868	13,230	—	33,308	51,406		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	65.6%	—	88.4%	82.0%		
	執行状況の説明	平成30年度より避難通路の整備工事を行い令和元年度の事業完了となったが、計画通りに事業執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	設計前の調査・測量	目 標	設計前の調査・測量	—	—	—	—	
		実 績	設計前の調査・測量	—	—	—	—	
	津嘉山小学校南側避難通路の基本設計の実施	目 標	—	基本設計の完了	—	—	—	
		実 績	—	基本設計の完了	—	—	—	
	津嘉山小学校南側避難通路整備の用地買収(371.5㎡)(工事場所:津嘉山小学校南側通路整備:149.1㎡)	目 標	—	—	実施	—	—	
		実 績	—	—	実施	—	—	
	津嘉山小学校南側避難通路整備工事及び管理委託	目 標	—	—	—	—	工事・管理委託の実施	
		実 績	—	—	—	—	工事・管理委託の実施	

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	調査・測量:149.1m	目 標	調査・測量: 149.1m	—	—	—	—
		実 績	調査・測量: 149.1m	—	—	—	—
	避難通路整備設置基本設計書の完了	目 標	—	基本設計の 完了	—	—	—
		実 績	—	基本設計の 完了	—	—	—
	鑑定評価3個所の完了	目 標	—	—	3個所	—	—
		実 績	—	—	3個所	—	—
	補償調査3個所の完了	目 標	—	—	3個所	—	—
		実 績	—	—	3個所	—	—
用地購入3個所の完了	目 標	—	—	3個所	—	—	
	実 績	—	—	3個所	—	—	
整備工事の完了	目 標	—	—	—	—	工事の完了	
	実 績	—	—	—	—	工事の完了	

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度	
	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。		目 標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	
			実 績	0回	0回	0回	1回	1回
			目 標					
			実 績					
	状況説明	【R3年度】 ・令和2年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和3年度に避難訓練を実施し検証を行う。						
		【R4年度】 ・令和3年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和4年度に避難訓練を実施し検証を行う。						
【R5年度】 避難訓練の結果、住民が避難通路を使うことで避難所への移動が迅速に行うことができ、整備前よりも有効に活用できることを確認した。								
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。				【R3年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。				
【R4年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。				【R4年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。				
【R5年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。				【R5年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。				

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度】

・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。

【R4年度】

・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。

【R5年度】

・今後も学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。